

Abkamura 9549 ppp EXXVII 21/05/24/10 4064499

总是我你也也是我的人的 のはいるないという 他能なるるいかいなる 多多数多说了 めてきるるか の記念

店が子子のるのではかりのるとははいる 巴生活的人的人的人的人的人的人 心を養物るなけるおき地である。 您告送得我的是多多多多 出版 面面投版自在地心主意也 裁之後建造者がありかる

手台 できる。本をは 3 をいる。 頂 改之及び 利果が電事 遇到風影 なない 學學 920 SNA OF)

了了一个的多等或花四年到之格榜 那是多地村生之物和中方在之多 心をなった

至多多多多多人 かるしるかっているまってい 八多多多多家好 典一转人数 力了人海路 するるででしたるかな

二人 1 タンや 5

多是了了一个一回了了 のけが整ちる内子的 多子を園子を 加了多次大多多了 人、経中小人生要人生地 へかるいいとうろ

八名かろうのためでし 型なるまま かくるののなかった 在地のなくまる なないるとう い書るうい

のなり変は物 ろろうや

祖人からうちょう かかれるのとうないれるの なるろうであっているる られているとうないできる るないないのであるのは

すべる同川るの間のまたかられて いいくくのいろういろうろう くべんといろりくなる はるるというなるとからう るかりるのからいろうという くうとうなるまっている

くろきい あるとした ちまんとからか

外女多场 真書品東 此外可以東日本 葡萄 五

すすに考べては画は文とと明いき作の成とはくすれ一切うりでや ますりういなる独立生まるるしますの世を子文とるようと別別 に附して出るはくをすとしてをか死しる情手歩する彼うではれば 了的元季丑之る海南方 と減るめんとする面色多の男女家はまいとのないとりないといる 場る先生が常るなと芸でを変るはいか人としておりの気をかったさいたせいきんまうがい もんしょうする たりょう たりょう らずれたれりはよりの優劣化すしいあしる哉しんあまるとせい ときなったとろのいのありていても別るたろいるできるとうと これするからんのとよ 失人のをあるいりかやえ回きるをないれーてまちのと 見きませってきはらればいいい

名為主然本部中 所習堂宇器服之所 俗 飛着動植之 訓蒙圖東九 先知之其殊得以名之字者欲題以和名 于屬對或為避于重字題以異名則注以 数名者以正名為標 形色 名 ちくっ くつ けい 雖皆以漢字題之而 制造得華强而合 猶不必同矣况人俗工 風土之殊如乾象坤 而 注 果名于其 合之故随國 さるれ

必 標 諸品名稱大抵漢字以方俗後来熟知則就圖中識别之 便筆而夢之或據盡家之所為或審問識者然後 諸品形状並象兹邦之風俗土產矣九 細 一工指成之其間有本土所無及 正名曰某也曰其之一名曰其謂之 カいと 投之不避鄙 里,稱以近俗宜今者屬之其和名亦有俗呼 一體而分支者則注中隔圈 餘皆為目也其 いまく それがし 俚为 提雜皆欲揮童蒙士易曉 所圖俱主正者若併書 有無法審則並 雨 附之是 某 所 價 とうつのせくげきすっこう 標題 用 - M. ころろん 目擊者 さんん 者 門 類 30% 則於

大村 といのというのない

ない はに、いいでは、これでは、これでは、

引於所讀得 本 容 林《後》 氏。則於 草之 果和風物神之 採機以裨益力 対だ 之圖說為主允訓話注疏稗史雅之圖書漢字以三才圖會農政全 止 さの 依 非 曲鑿所能鍋况只墨印而無施軍彩子 疎影手 然豊偉之體非小圖 小孩 如子竟益 所多 書 能容 諸話 4 有 學

原艺無行今非辨之或 以目次之數別為太字冊子呼曰三才千字文明操釋之在人也

西儀 ことととうちのまと 列省や 文文記 太た。 さく 本社極 くし ひこが 残なり 大唐 陰陽 理る めみてん べつさい けんで 長度でで で星 倭國 3 Z んぜ りらづき

畔海、村、崖、巌、山 水 虹 柱 K ムス なら 田為林養 谷藏 よっと みぞ たと 塚波川楼 25.2 澤於井於渦於洲。洞於丘於坂及 いふづま 池、韓心濱江岸江岬了 盤溢 行あっき HX

上部中

水橋間道礫 かそとか 庭、階、棟 ひのくち かま たれたいの 沙やナな 人世中 のま 牧森堤、整、属、泉 欄之楹急 いづえ 177 浮封稿 磚草旅內博 路子

藏 みぎり 持 浴底高 實活 宫 たろう 牢队(户) 攝 廬り 教 鎮、尾、金、屋、 勒。 首e

俳《仙》尼、雕艺工 きみ 古あれなと べへてろ 物之部 せまちい かりっかき 大日泉 ねる みと 女 そんる 官 マ つち いんない みしろ さった ひき ムそび

伯浩涛舟彈鬼 天是屠 事借 琉神球國 くろうよかし 問人浪鏡 安教朝行 **张慎** 近点 漁

1

占城城 頭 とず か私 から 巻き五 追りはいいいろう くち 夷 腸 かみ 対なこれ 看は少 水野水水田泉 紡 ちゃく あがっかん 腸 あっと 國 乳 手。 目 毛 くそぶくろ 17 ことひけ 或 るすん 13 中 膀, 膽 うべいけ とくろ み

《缺》裙》表:帽"暴" 掖 たまのかと で衣い 恍然と殺け女は帯に袖を 怡·幅·直·禁靴衫 用台t 中之掇。 絡為語話光榜

こがひ 銀 珀黎泽和芒 大変が あろう 宝貨え 环划 るすろ 縁が握り 瑁: 碟 九 あるいみ

紙 水水绵流和 雌雅 銀 染が かみ 血 高麗織 せった よで 用と新 墨する 線為結構 ないもの 砚 滑 灰石粉 すべて 珍 盘 鐵線 続き 金漢 あや 冊子

意扇芝 名 ふる 杨柏 禄 三気といる。というない。 黨 数·柱 鐸環 摺尺 うつでみ 被是

屬、壓視於 香 香、燈 腰 屏梁、鼓之八 餅、 爐る 奴と尺さ 空的影批》燈、眼江水、基本 風了假, 瓶燈籠 馬だ鐘 霉 面 書 燈紅 風含抹 車 香燈 羅 であるかい 線步烟水油 銅 鞠 鉢 壶香火海 明 るか 羯 る象。喇点 たく 方棋 个

错 かかもみ える ナラひ 老され ちろ 在 播 艾色 かぶと やしゃ かて つかか 器用え 中歌門東門家 並叉 表 舒 幡 短りるが 能 鞘 さいく 3525 とな やるぐひ ゆうけ かと やア きつかい たて むち ゆどて 19 とめ つろ

鄉、忧轅 ふん 輪。碇、針 くつきょかった かがえん 石艺 剱 ろばな 般了 机的 輌き 車 發貢 航 とぶる かかつ くびか くべき 替 較₹ 舶 てぐるは かんと 一泥な 根江 るなめ

擔 把被 あかご からすん 巻え十 雜 続う むまくべ 器用之部 えず るご 3 され うん 確 くるく かい ず榨 かま

3 知 鉤 連門 かるつち 鑢 弊 鋸 础数? あて 具 のこまう つて 箍· 楔 植八組 さい くさび 重 ぬさ 鎖錐 仓 如 瓦齊 鐵了 索 ける ぐっ 動 るつか るか ろるは

0

いいいい

水紅 車 すべれ 魚湯 台程 旅艺 網方 車 やる であり 用之社 草魚魚 ひぞう 編網 類 する たらい 石類雜 さく 主!! 翰! 綱 まくら 雀羅 筒車 挺 網

桶。盒木的处型 荒桃市 いぐん たらい 鉢、碟、筋、飯、鍋、盃 粉、櫛 是 さうづれ **约** 盆流光火、茶·釜·盏·壶梳 盤碗藥的 匙り 盂 第5岳。盏·茶·香·粤、爵·樽、桃以笄以 帝沒是盤 碗匙 爐

風然標。響。解於杵爐 ひたす 盒爐 4 簠、觚、臼;燧 (雪芳 刷的 童 洞 篡乘 銅清漏3 銚斗 盆、板 ふくる 洗点湯 3 纲 平江人 提鍵 ぶやろ かで う爐る 虚で 15

笛 寶 木 潭 梯 炬 膘,魚。儀 魚話石等錫鈴磁発 着:燈、杖、杵、針、 53 摺;石、手。五、佛、標、唧、葢、檯、臺 豐一碑 爐 站 龍 榜 筒 交往神。数了三流佛。署查组的 榜。主。珠、鈷、座、扁之 靈、猫、獨、花、胡、华、杖等箱 站 量表

臓に 皮の手 老さく十二 紙燈和 盃 土心短於寶施和於蓋 抽到匣 滴啄棺。 能 は虞 類底

體で免し 猪は 考えて 型 北 牛 たぬき 牛 り見とう さつが ある 刻 馬店ろ 題 ねめて ナイム かざぬき 雪岛 的, 那点 駁 { 程

日日日

鶲白。鷓鸡鸡鸡 鹰端鹏 なよ 厘 维以 鷲鹭,鹰禽乳 學山流維。豐 總 鍋雀 鹊 さき 雞 雞り難る され だま さい 鴻雞練山流雀。鷹科紅鹭門 背龍雞、戲 鶴江 門心 在一年。鹬"爸爸爸"館 燕鶉啄 木剪 つがろ

駒鳥 得_了烤 黄を 九官 進 山淮 角 かいい 菊火、戴維 館 文が羽珠鶏 尾文意 ふい りなど

羽塊 江》餘 競魚 虎 鮏い かつか みづち するがつか 巻くろ 《黄 鯛鰐 龍 雉 道是10日前川·以下司志是月录 追 龍 角 維t 初鳴 頰 くちち 部 尾山都 艦 たろ 魚魚魚 鰈 絲彩緞 航! ゑぶる 紋 かっという

解於館於簡子級 河 解於網灣館 魚 賊 母 李蝦, 鯛 頗之土は青される方が **麵如鮮紅網 乾**沧海: 海: 条: ご金記 蝦,河, 鯃 月生工 き魚 魚 海鄉鄉願觸觸 るが à

西小

易なか なべ なく かざめ ったく かめ たろうがひ 张自当时 川、多人到近是一月 五 すろかん あかいい ひま たこの 蟲 たく 鰒 せきで あるひ かと ろうろこ スギン 古、地 3 きっちゃ 虾花 うんとかっ 200 車 B かくろ 非 たますん ふええ ナス がそ

11/4

蜈に蛙か 蜂、斑 2:5 教が 青せい 到蠓百 是 恭 かいこ 蛙 蟾儿 蟻が蚯 子以蚊龙蝎红 蛤、 蚓蜍汗 でき いろう 蜘蛛女大蟒、蛾、蛭、纳茨 金克 重な ある 蚰滩 くて 城、城

站艺 粳 省也 蝓 屈 あさ 谷 そえ十六 蠅は 百八十二日本 川られいりに見 丁張 姓やう 蟷 戏 くちめよう ~~ 壁线 虫古さ 銀幣 馬 蛇 きが 蟖 うかで 刻 蠅 蚁 要 虫 蠖 あると 裸 山 红 至 せろう 丁虫 ひえ 頭

果 まんごろう 四山 巻え十 水腹なん 餅、頭沒 かかたら けんまめ 焼 餅 NU 被いとという 環 蒜 ふんよく

13 高人 よがか わざみ ふづる たけ つくけけ ない 見了 174 荷 角 きび 耳 蓝中 满陸 水がながる 狗活 セナンー るでひ いめんさい 路 浦盧 せき こんにやく ひゃくるで ふれ 7/1

松节胡一杨节 \$一种一积 椒棒囊 龍水 菱桃湖南东 眼》瓜公 かや 金楼抽中李 益村 万 茶胡蛇銀推推 類、安古 費さ 姑

松き 海仙常有 厚乳 仙 へた さたっ 老之十九 浆 えけつい ちょてい できろうつき かいて すが かち される 檜いのき 什え都 核 南京屋で ある 应 桥 鵤花 かろ 圆处 どうた

* 棟 石 羅 さくうける 歡 櫚 寄物的物物 5835 握於矛 桑 構えて 檀湯

根礼 えなってい 重英英 A SOO たん きくニナ な芙蓉 芍藥 顔ででるる 無節件 3 する 山龙龙人 後される 秋海棠 櫻草 龍膽 小田田生大田田外 かとう かん うんせんくい さんしてい をける 種なけめ 雞! 枝 ころん あろうさ 局分 333 35 うだんしく 梢 筒 ひゃくろ 世ろう

仙花 せんくか せろう そう 花六 社と 卷相等 藺 縣 2 旋覆 菰 いぞうきく やろきり 菊 覆 夢 さくてく 馬龍 栢 たで そうふれ べき 王簪 浦和 蓋 てる きろくさん 烏頭 鸱 かったき かま ふべ 河河 教 篇 慎 辞 風仙花 せるろく せてころく ナイフノコー 斛

するい あんどう 積沒雪 前だ ろう くだと 鸭活 蒼耳 うろう で記れる 色葉を 首香 龍芮 鼠戏 太南星 山蔥 さる 馬がある 防鼠 なっきる 茵蔯 かんち 風 紫草 学は 石荷 澤 紅花花 藍な よくせる 游

* たろ 並くき 鐘馗 うひつこんがう 石弱金剛 てるぶさ 老之世 老子 壽老 聖德太子 ひょう こやよ そうとくたいし いせんろう 蘭記 維熱 苞るで 孔子 神農 金是燈 だんくうくい もつきんか 許 益, 石艺机 てんざいざいし きょもう 休義 えいくろと 黑天 きつ 一道 章駄天 蛭子 かる まるんしゃ すべつのみど ~けろいが! たろ

琴高 鐵粉份 大人 東 茶湯 狂言 まっろ つくそぶん さくけん 祖大師 かろう ろいせん子 ゆみ 蝦養人 費長房 晋王主教之 蹴鞠 役行者 衣通姫 みんのまるうじ ひちゃうむろ 11日日日日日 立花花 輕紫 かるるさ 西王母不 大公望 寒江 WILLIAM ANTHONY 山鄉里的 小野道風 人香 鉢なる 三社 たいろうぞう 拾得 等術 鷹匠 上利劒 園を基 通玄 13/1/2 そとけん こまろう うつしてる 筆道 一十大人 琴 張元哥 諸礼 巨電人 迦陵頻 白樂天 樣条 将基 芝居役者 うきていん 能 さらまかし きいい 2 2

1

・まんさいらく 高 訓紫圖黑目錄終

T



